2026年11月12日

各　　位

会 社 名　株式会社　栄　電　子
代表者名　代表取締役社長　津田　百子
（東証スタンダード・コード７５６７）
問合せ先
役職・氏名　取締役　大久保　雅文
電話　０３－６３８５－７２４０

2027年３月期第２四半期(中間期)業績予想と実績値の差異、通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2026年８月７日に公表いたしました2027年３月期第２四半期(中間期)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、最近の業況を踏まえ2027年３月期の通期業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想と実績値の差異

(1)2027年３月期第２四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回予想値（A）	百万円 5,361	百万円 244	百万円 257	百万円 151	円　銭 29.81
実績値（B）	5,787	310	325	200	39.65
増減額（B－A）	425	66	67	49	－
増減率（%）	7.9	27.2	26.4	32.7	－
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2026年３月期第２四半期)	3,367	32	46	42	8.30

(2)差異の理由

第２四半期（中間期）の連結業績につきましては、生成AI関連需要の拡大などを背景に、半導体関連市場において堅調な需要環境が続く中、主要顧客である半導体製造装置メーカー及びそのサプライヤーにおける在庫調整が進展したことなどから、当社グループの受注高は直近の業績予想発表時の想定を上回って推移し、売上高は前回公表予想を上回りました。利益面におきましても、増収効果に加え、高付加価値商材の伸長などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも前回公表予想を上回りました。

２．通期業績予想の修正

(1)2027年３月期通期連結業績予想の修正　(2026年４月１日～2027年３月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回予想値（A）	百万円 10,071	百万円 333	百万円 351	百万円 203	円　銭 40.03
今回予想値（B）	11,497	509	534	300	60.18
増減額（B－A）	1,425	176	183	97	－
増減率（%）	14.2	52.9	52.4	47.8	－
(ご参考)前期連結実績 (2026年３月期)	7,330	139	154	113	22.42

(2)修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、地政学リスクや原材料価格の動向に加え、各国の政策・規制や生成 AI・データセンター関連投資の動向など先行き不透明な要因はあるものの、第２四半期までの業績進捗及び足元の受注状況を勘案し、売上高および各段階利益を上方修正いたします。

３．配当予想の修正

(1)2027 年３月期期末配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	―	13.00 円	13.00 円
今回修正予想	―	14.00 円	14.00 円
当期実績	0.00 円	―	―
（ご参考）前期実績 (2026 年３月期)	0.00 円	11.00 円	11.00 円

※2027 年３月期の配当予想には、第 60 期記念配当 2 円が含まれております。

(2)修正の理由

当社は、安定的かつ継続的な株主還元を基本方針としており、配当性向に加え、中長期的な DOE（連結株主資本配当率）目標も考慮しながら、株主還元の充実に努めております。

この方針のもと、今回の通期連結業績予想の上方修正を踏まえ、株主の皆様への利益還元を一層充実させるため、期末配当予想を前回予想の１株当たり 13 円（普通配当 11 円、第 60 期記念配当２円）から１円増額し、14 円（普通配当 12 円、第 60 期記念配当２円）に修正いたします。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合がございます。

以上